

令和元年度

大里広域市町村圏組合一般会計・

介護保険特別会計歳入歳出決算審査意見書

大里広域市町村圏組合基金運用審査意見書

大里広域市町村圏組合監査委員

# 目 次

## 令和元年度大里広域市町村圏組合一般会計・介護保険特別会計歳入 歳出決算審査意見書

第1	審査の対象	1
第2	審査の期日	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	総括	1
(1)	決算規模	1
(2)	財政収支	2
2	一般会計	3
(1)	財政状況	3
(2)	歳入	3
(3)	歳出	4
3	介護保険特別会計	5
(1)	歳入	5
(2)	歳出	6
4	実質収支に関する調書	6
5	財産に関する調書	7
(1)	公有財産	7
(2)	物品	7
(3)	基金	7
第5	審査意見	7

## 令和元年度大里広域市町村圏組合基金運用審査意見書

第1	審査の対象	9
第2	審査の期日	9
第3	審査の方法	9
第4	審査の結果	9
第5	審査意見	9
第6	基金の運用状況	9
1	大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金	10
2	大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金	10
3	大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金	10



大広監発第24号  
令和2年10月14日

大里広城市町村圏組合  
管理者 富岡 清 様

大里広城市町村圏組合  
監査委員 三澤 欣一  
監査委員 稲山 良文

令和元年度大里広城市町村圏組合一般会計・介護保険特別会計歳入歳出  
決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和元年大里広城市町村  
圏組合一般会計・介護保険特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり  
意見を提出します。

## 第1 審査の対象

令和元年度大里広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算書

令和元年度大里広域市町村圏組合介護保険特別会計歳入歳出決算書

令和元年度大里広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和元年度大里広域市町村圏組合介護保険特別会計歳入歳出決算事項別明細書

令和元年度大里広域市町村圏組合一般会計・介護保険特別会計実質収支に関する調書

令和元年度大里広域市町村圏組合財産に関する調書

## 第2 審査の期日

令和2年10月14日

## 第3 審査の方法

決算審査に当たっては、管理者から送付された一般会計及び介護保険特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書について、証票書類、その他関係諸帳簿等により、決算計数の正確性・予算執行の適否等の確認を行い、必要により関係職員の説明を求め、審査を実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算及び附属書類は、関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿等と符合し、正確であった。

また、予算の執行についても適正に執行されているものと認められた。

### 1 総括

#### (1) 決算規模

##### ア 総計決算額

一般会計及び介護保険特別会計の総計決算額は次のとおりである。

(単位：円)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減
歳 入	35,141,753,813	36,654,346,364	△1,512,592,551
一般会計	3,912,213,579	6,458,804,352	△2,546,590,773
特別会計	31,229,540,234	30,195,542,012	1,033,998,222
歳 出	34,157,338,661	35,494,341,176	△1,337,002,515
一般会計	3,723,824,728	6,165,533,396	△2,441,708,668
特別会計	30,433,513,933	29,328,807,780	1,104,706,153
歳入歳出差引残額	984,415,152	1,160,005,188	△175,590,036

一般会計の決算額を前年度に比較すると、熊谷衛生センター第一工場の基幹部大規模改修工事の完了に伴い、

歳入では前年度の6,458,804,352円に対し2,546,590,773円(39.43%)、歳出では前年度の6,165,533,396円に対し2,441,708,668円(39.60%)それぞれ大幅に減少している。

介護保険特別会計の決算額を前年度に比較すると、

歳入では前年度の30,195,542,012円に対し1,033,998,222円(3.42%)、歳出では前年度の29,328,807,780円に対し1,104,706,153円(3.77%)それぞれ増加している。

#### イ 純計決算額

今年度は、各会計相互間の繰入金・繰出金がなかったため、純計決算額は総計決算額と同額となっている。

(単位：円)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減
歳 入	35,141,753,813	36,654,346,364	△1,512,592,551
一般会計	3,912,213,579	6,458,804,352	△2,546,590,773
特別会計	31,229,540,234	30,195,542,012	1,033,998,222
歳 出	34,157,338,661	35,494,341,176	△1,337,002,515
一般会計	3,723,824,728	6,165,533,396	△2,441,708,668
特別会計	30,433,513,933	29,328,807,780	1,104,706,153
歳入歳出差引残額	984,415,152	1,160,005,188	△175,590,036

#### (2) 財政収支

一般会計及び介護保険特別会計の収支状況は、次表のとおりである。

#### 決 算 収 支

(単位：円)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減
A 歳 入	35,141,753,813	36,654,346,364	△1,512,592,551
B 歳 出	34,157,338,661	35,494,341,176	△1,337,002,515
C 差引額 (A-B)	984,415,152	1,160,005,188	△175,590,036
D 翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0
E 実質収支 (C-D)	984,415,152	1,160,005,188	△175,590,036
F 単年度収支 (E-前年度E)	△175,590,036	△43,144,635	△132,445,401

## 2 一般会計

### (1) 財政状況

一般会計歳入歳出決算額は、次のとおりである。

#### 決 算 状 況 (単位:円・%)

区 分	予算現額	歳 入	歳 出	差 引 額	予算現額に対する	
					歳入 決算比	歳出 決算比
元年度	3,869,202,000	3,912,213,579	3,723,824,728	188,388,851	101.11	96.24
30年度	6,401,139,000	6,458,804,352	6,165,533,396	293,270,956	100.90	96.32
比較増減	△2,531,937,000	△2,546,590,773	△2,441,708,668	△104,882,105	0.21	△0.08

全額翌年度へ繰り越している。

前年度決算額に比べて歳入では、2,546,590,773円(39.43%)、歳出では、2,441,708,668円(39.60%)それぞれ減少である。

また、歳出を性質別に分類すると次表のとおりである。

#### 性 質 別 歳 出 の 状 況 (単位:千円・%)

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
義務的経費	327,946	8.81	266,137	4.32	218,972	4.93
人件費	184,664	4.96	193,971	3.15	181,927	4.10
公債費	142,182	3.82	70,566	1.14	35,715	0.80
扶助費	1,100	0.03	1,600	0.03	1,330	0.03
投資的経費	298,861	8.02	2,484,026	40.29	926,478	20.88
そ の 他	3,097,018	83.17	3,415,370	55.39	3,292,177	74.19
歳 出 合 計	3,723,825	100.00	6,165,533	100.00	4,437,627	100.00

### (2) 歳 入

一般会計歳入予算執行状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	執行率
元年度	3,869,202,000	3,912,213,579	3,912,213,579	0	0	101.11
30年度	6,401,139,000	6,458,804,352	6,458,804,352	0	0	100.90
比較増減	△2,531,937,000	△2,546,590,773	△2,546,590,773	0	0	0.21

予算現額に対する収入済額の割合は101.11%(前年度100.90)である。

収入済額の構成比について款別にみると、構成比率の高いものは、分担金及び負担金72.80%、使用料及び手数料16.88%、繰越金7.50%、諸収入2.82%の順である。款別歳入状況は次のとおりである。

歳 入

(単位：円・%)

款	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	執行率	構成比率
1 分担金及び負担金	2,848,204,000	2,848,204,000	0	100.00	72.80
2 使用料及び手数料	650,000,000	660,451,480	10,451,480	101.61	16.88
3 財産収入	141,000	103,387	△37,613	73.32	0.00
4 繰越金	293,271,000	293,270,956	△44	100.00	7.50
5 諸収入	77,586,000	110,183,756	32,597,756	142.01	2.82
歳入合計	3,869,202,000	3,912,213,579	43,011,579	101.11	100.00

(3) 歳 出

一般会計歳出予算執行状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元年度	3,869,202,000	3,723,824,728	0	145,377,272	96.24
30年度	6,401,139,000	6,165,533,396	0	235,605,604	96.32
比較増減	△2,531,937,000	△2,441,708,668	0	△90,228,332	△0.08

予算現額に対する支出済額の割合は96.24%（前年度96.32）である。

支出済額の構成比について款別にみると構成比率の高いものは、衛生費93.91%、公債費3.82%、総務費2.23%、議会費0.04%の順である。

款別歳出状況は次のとおりである。

歳 出

(単位：円・%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	構成比率
1 議会費	2,379,000	1,332,636	0	1,046,364	56.02	0.04
2 総務費	88,678,000	83,062,578	0	5,615,422	93.67	2.23
3 衛生費	3,625,961,000	3,497,247,619	0	128,713,381	96.45	93.91
4 公債費	142,184,000	142,181,895	0	2,105	100.00	3.82
5 予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.00	0.00
歳出合計	3,869,202,000	3,723,824,728	0	145,377,272	96.24	100.00

### 3 介護保険特別会計

介護保険特別会計歳入歳出決算額は、次のとおりである。

#### 決 算 状 況

(単位:円・%)

区 分	予算現額	歳 入	歳 出	差 引 額	予算現額に対する	
					歳入 決算比	歳出 決算比
元年度	31,164,048,000	31,229,540,234	30,433,513,933	796,026,301	100.21	97.66
30年度	29,864,420,000	30,195,542,012	29,328,807,780	866,734,232	101.11	98.21
比較増減	1,299,628,000	1,033,998,222	1,104,706,153	△70,707,931	△0.90	△0.55

全額翌年度へ繰り越している。

前年度決算額に比べて歳入では、1,033,998,222円(3.42%)、歳出では、1,104,706,153円(3.77%)それぞれ増加である。

#### (1) 歳 入

決算額は、予算現額31,164,048,000円に対して調定額31,510,267,214円、収入済額31,229,540,234円、不納欠損額88,336,800円、収入未済額192,390,180円である。

収入済額の主なものは、保険料7,017,311,450円(構成比率22.47%)、分担金及び負担金4,415,590,710円(構成比率14.14%)、国庫支出金6,326,353,845円(構成比率20.26%)、支払基金交付金7,768,400,781円(構成比率24.88%)、県支出金4,294,725,397円(構成比率13.75%)、繰入金529,106,000円(構成比率1.69%)、繰越金866,734,232円(構成比率2.78%)である。

款別歳入状況は次のとおりである。

#### 歳 入

(単位:円・%)

款	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	執行率	構成比率
1 保険料	6,810,679,000	7,017,311,450	206,632,450	103.03	22.47
2 分担金及び負担金	4,415,591,000	4,415,590,710	△290	100.00	14.14
3 国庫支出金	6,317,426,000	6,326,353,845	8,927,845	100.14	20.26
4 支払基金交付金	7,927,785,000	7,768,400,781	△159,384,219	97.99	24.88
5 県支出金	4,294,722,000	4,294,725,397	3,397	100.00	13.75
6 財産収入	941,000	940,821	△179	99.98	0.00
7 繰入金	529,106,000	529,106,000	0	100.00	1.69
8 繰越金	866,735,000	866,734,232	△768	100.00	2.78
9 諸収入	1,063,000	10,376,998	9,313,998	976.20	0.03
歳入合計	31,164,048,000	31,229,540,234	65,492,234	100.21	100.00

(2) 歳出

決算額は、予算現額 31,164,048,000 円に対して、支出済額 30,433,513,933 円で差引 730,534,067 円の不用額を生じている。

支出済額の主なものは、総務費 477,449,968 円（構成比率 1.57%）、保険給付費 27,875,606,316 円（構成比率 91.59%）、地域支援事業費 1,149,084,276 円（構成比率 3.78%）、基金積立金 382,258,692 円（構成比率 1.26%）、諸支出金 549,114,681 円（構成比率 1.80%）である。

款別歳入状況は次のとおりである。

歳出 (単位：円・%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	構成比率
1 総務費	517,225,000	477,449,968	0	39,775,032	92.31	1.57
2 保険給付費	28,408,662,000	27,875,606,316	0	533,055,684	98.12	91.59
3 地域支援事業費	1,301,442,000	1,149,084,276	0	152,357,724	88.29	3.78
4 基金積立金	382,259,000	382,258,692	0	308	100.00	1.26
5 諸支出金	549,460,000	549,114,681	0	345,319	99.94	1.80
6 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.00	0.00
歳出合計	31,164,048,000	30,433,513,933	0	730,534,067	97.66	100.00

4 実質収支に関する調書

地方自治法第 233 条第 1 項の規定に基づき、同法施行令第 166 条第 2 項により提出された本調書は、決算書と突合の結果、正確であることを確認した。

(単位：千円)

区分 会計別	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り越すべき財源				実質 収支額	実質収支額の うち地方自治 法第 233 条の 2 の規定による 基金繰入額
				継続 費通 次繰 越額	繰越 明許 費繰 越額	事故 繰越 し繰 越額	計		
一般会計	3,912,214	3,723,825	188,389	0	0	0	0	188,389	0
介護保険特別会計	31,229,540	30,433,514	796,026	0	0	0	0	796,026	0

## 5 財産に関する調書

### (1) 公有財産

#### ア 土地

区分	30年度末現在高 (㎡)	元年度中増減高(㎡)	元年度末現在高 (㎡)
行政財産	13,157.93	0	13,157.93
普通財産	0	0	0
合計	13,157.93	0	13,157.93

本年度中における増減はなく、年度末現在高は、13,157.93 ㎡である。

#### イ 建物

区分	30年度末現在高 (㎡)	元年度中増減高(㎡)	元年度末現在高 (㎡)
行政財産	22,590.61	0	22,590.61
普通財産	0	0	0
合計	22,590.61	0	22,590.61

本年度中における増減はなく、年度末現在高は、22,590.61 ㎡である。

### (2) 物品

本年度中における増減はなく、年度末現在高は44件である。

なお、この物品は1件につき取得価格500,000円以上のものである。

### (3) 基金

基金については、「不燃物処理施設建設基金」、「ごみ処理施設整備基金」及び「介護保険給付費準備基金」の3基金があり、年度末現在高は、1,862,207,870円である。

## 第5 審査意見

本年度における一般会計の決算状況は、歳入3,912,213,579円、歳出3,723,824,728円、差引188,388,851円となり、介護保険特別会計では、歳入31,229,540,234円、歳出30,433,513,933円、差引796,026,301円となった。

一般会計の歳入合計を前年度と比較すると、2,546,590,773円の減少で、歳出合計では、2,441,708,668円の減少である。

介護保険特別会計の歳入合計を前年度と比較すると1,033,998,222円の増加で、歳出合計では、1,104,706,153円の増加である。

可燃ごみ処理については、消耗部品等の耐用年数を考慮した補修を実施し、今後も安定した施設の管理運営を望むものである。また、焼却施設周辺住民の生活環境にも配慮されるとともに、施設の従事者やごみ搬入者に対しての事故防止については、万全な安全対策を徹底されたい。

不燃ごみ処理については、引き続き、構成市町との緊密な連携のもと、分別の徹底による減量化と再資源化に努め、有価物回収率の更なる向上を図られたい。

契約関係では、随意契約が多くみられるが、公平性、透明性の確保の観点から、随意契約ガイドラインの整備・運用を図るなど、慎重に手続を進めながら、経費節減に努められたい。

介護保険については、第7期介護保険事業計画の2年度となったが、住民にとって介護保険制度が身近でより使いやすいものとなるよう構成市町と十分な協議、連携を図ることにより、引き続き適正かつ効率的な制度運営に努められたい。

また、介護保険の認定事務については、引き続き、処理の迅速性を図りつつ、被保険者に対する公平・公正な審査の実施に努められたい。

なお、介護保険料の時効は2年と短期間であり、かつ強制徴収公債権であることから、財産調査、差押え等の滞納処分が円滑に実施できるよう、職員の事務分担の見直しや非常勤職員の有効活用などの検討により徴収事務量の確保を図りつつ、特に第8段階から第10段階の高負担層の滞納者に対しては優先して滞納整理の促進を図られたい。

一般会計、介護保険特別会計とも適切に支出が行われていると認められるが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今後厳しい財政事情が予想される行財政運営中で、事業の実施に当たっては、職員一人ひとりが住民の福祉向上を念頭に費用対効果の視点を常にもち、事業の効率的、合理的な執行を望むものである。



大広監発第25号

令和2年10月14日

大里広域市町村圏組合

管理者 富岡 清 様

大里広域市町村圏組合

監査委員 三澤 欣一

監査委員 稲山 良文

令和元年度大里広域市町村圏組合基金運用審査意見について

地方自治法第241条第5項の規定により審査に付された基金の運用状況を示す書類を審査した結果、次のとおり意見を提出します。

## 第1 審査の対象

令和元年度大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金  
令和元年度大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金  
令和元年度大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金

## 第2 審査の期日

令和2年10月14日

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、基金の運用状況を示す書類について、関係諸帳簿等により確認を行い、必要により関係職員の説明を求め、審査を実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された基金の運用状況を示す書類の計数は正確であり、適正に執行されているものと認められた。

## 第5 審査意見

基金は、それぞれの設置目的に即して運用している。その保管現金については、定期預金等により運用している。

基金の保管・運用については、今後とも各基金の設置目的等に即して適切に又最も確実かつ有利な方法により行うよう望むものである。

## 第6 基金の運用状況

<総括表>

(単位：円)

基金別	区分	30年度末現在高	元年度中増減高	元年度末現在高
1 大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金	現金	53,241,670	103,387	53,345,057
2 大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金	現金	433,439,170	264,535,076	697,974,246
3 大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金	現金	1,257,735,875	△146,847,308	1,110,888,567
合計		1,744,416,715	117,791,155	1,862,207,870

### 1 大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金

(単位：円)

区 分	30年度末現在高	元年度中増減高	元年度末現在高
現 金	53,241,670	103,387	53,345,057
計	53,241,670	103,387	53,345,057

元年度中の増減は、定期預金利子分 103,350 円、普通預金利子分 37 円を積み立てたことにより、103,387 円増加した。

### 2 大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金

(単位：円)

区 分	30年度末現在高	元年度中増減高	元年度末現在高
現 金	433,439,170	264,535,076	697,974,246
計	433,439,170	264,535,076	697,974,246

元年度中の増減は、30年度繰越金分 238,270,956 円、ごみ処理手数料分 26,264,120 円を積み立てたことにより、264,535,076 円増加した。

### 3 大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金

(単位：円)

区 分	30年度末現在高	元年度中増減高	元年度末現在高
現 金	1,257,735,875	△146,847,308	1,110,888,567
計	1,257,735,875	△146,847,308	1,110,888,567

元年度中の増減は、30年度繰越金分 380,528,871 円、介護保険災害臨時特例補助金等 789,000 円、定期預金利子分 940,821 円を積み立てたことに対して、529,106,000 円を取り崩したことにより、146,847,308 円減少した。